

平成 30 年度 第 12 回 横浜市現市庁舎街区等活用事業審査委員会 議事録

日 時	平成 30 年 12 月 3 日 (月) 16 時 00 分～18 時 00 分
開 催 場 所	関内中央ビル 10 階大会議室
出 席 者	委員 6 名：岸井委員長、治田副委員長、石川委員、国吉委員、西田委員、野原委員、事務局（都市整備局）：小池都市整備局長、村上都心再生部長、黒田都心再生課担当課長 ほか
欠 席 者	足立委員、矢ヶ崎委員
開 催 形 態	非公開
次 第	募集要項について
概 要	<p>議題について事務局から資料の説明をした後、委員による協議を実施 (主な発言要旨)</p> <p>1. 募集要項</p> <p>(1) 交通機能の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光・集客に資する交通機能を導入するということだが、来てもらう場所に魅力がなければ、拠点にしても意味がないのではないかと。 ○交通機能については、どれだけ実効性があるか分からなければ、評価できないのではないかと。 ○賑わいと連携して交通機能を強化したほうがよいという期待感が伝わるようにすべき。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マネジメントについては、周辺との関係をきちんと提案してほしいと伝わるようにすべき。 ○事業がきちんと実施されているのか、確認できる体制を整えるべき。 ○社会状況が変化した場合、コンセプトを変えるなど、時代の変化にも柔軟に対応すべきではあるが、それが大丈夫かきちんと確認できる体制にすべき。 ○隔地駐車場が認められるかどうかについても、検討したほうがよいのではないかと。 <p>2. 関内駅周辺地区エリアコンセプトブック</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「観光・集客」について、ここで何を求めているか明確にしておかないと誤った解釈をされるおそれがあるので、表現については工夫すべき。 ○横浜の都心部全体を再生していく内容を求めるのであれば、世界における、日本における横浜の位置付けや、今どのようなことが横浜に求められているのか、みなとみらいを中心に様々な施設が建設されていることなども示すべきではないかと。 ○他の都市と違った、創造都市も含めた小さな新たな試みの状況も、示してもいいのではないかと。 ○近景における景観的な配慮について、もっと何を求めているのか明確にすべきではないかと。 ○環境に負荷をどう抑えるかという視点ももつべきではないかと。 ○マネジメントの事例から、伝えたいことが分かりづらいので、工夫すべき。

資料	<ol style="list-style-type: none">1 議事次第2 「関内駅周辺地区エリアコンセプトブック（案）」の市民意見募集、及び、サウンディング型市場調査の結果3 現市庁舎街区活用事業募集要項（案）について4 関内駅周辺地区エリアコンセプトブック（案）について5 「関内駅周辺地区の新たなまちづくりシンポジウム」に関する報告
----	---